

更なる保健事業の充実について

更なる保健事業の充実について

1. 事業内容

- (1) LDLコレステロール値に着目した受診勧奨(4年度から実施)
現役世代の循環器疾患の重症化予防対策として、LDLコレステロール値に着目した受診勧奨を実施。
- (2) 重症化予防対策の充実(6年度から実施)
被扶養者及び協会が事業者健診結果データを取得した者を対象として、高血圧等に係る未治療者に対する受診勧奨を実施。
- (3) 支部における地域・職域の特性を踏まえた保健事業の実施(6年度から実施)
喫煙、メンタルヘルス等に着目した新たなポピュレーションアプローチ等、支部における地域・職域の特性を踏まえた保健事業を実施。
- (4) 健診・保健指導の充実・強化
- ① 生活習慣病予防健診(一般健診)の自己負担の軽減(5年度から実施)
健診実施率の向上のため、現在38%の一般健診の自己負担について、総合健保組合の水準を参考に**28%に軽減**。
※1 現在自己負担30%の生活習慣病予防健診の乳がん検診・子宮頸がん検診のほか、肝炎ウイルス検査についても、自己負担を28%に軽減。
- ② 付加健診の対象年齢拡大及び自己負担の軽減(対象年齢拡大は6年度から、**自己負担軽減は5年度から実施**)
疾病の早期発見等の目的、健保組合の実施状況、定年延長の状況等を踏まえ、現在50%の付加健診の自己負担について、**28%に軽減**するとともに、対象年齢を現行の「40歳、50歳」から「40歳、45歳、50歳、55歳、60歳、65歳、70歳」とする。
※2 なお、健診内容については、国の特定健康診査等基本指針の見直しの動向(令和4年度中に取りまとめ)を踏まえることとしている。

2. 予算

- (4)①及び②の自己負担軽減に伴う年間所要額
5年度 約220億円 6年度 約250億円(※3)

※3 付加健診の対象年齢拡大による影響を含む。

参考(自己負担額の変化)

	自己負担額 (変更前)	自己負担額 (変更後)	差額
一般健診	最高7,169円	最高5,282円	-1,887円
付加健診	最高4,802円	最高2,689円	-2,113円

令和5年1月以降に実施する広報について

今年度は、例年実施している「保険料率」に関する広報を着実に実施していくことに加え、「更なる保健事業の充実」に関しても、積極的な広報を実施していく。

【全国における対応】

- 新聞広告による広報
- Webによる広報
 - ホームページに特設ページを開設
- 紙媒体による広報物の作成
 - ・令和5年度保険料率 リーフレット(保険料額表)、ポスターを作成
リーフレットは2月発送分の納入告知書に同封し、事業所へ送付する
 - ・更なる保健事業の充実 チラシ、ポスターを作成

【支部における対応】

- 関係団体への広報
 - 経済団体へ訪問し、会員事業所への周知の依頼を行う
 - ・静岡県商工会議所連合会
 - ・静岡県商工会連合会
 - ・静岡県中小企業団体中央会
 - ・静岡県経営者協会
- 健康保険委員への広報
 - 健康保険委員向け広報紙にて広報を実施
- メールマガジンによる広報

《参考》広報素材

あなたとあしたへつづく、健康を。

けんぽのいっぽ!

令和5年度から、さらに皆さまの健康を守り続ける、新たな取組を順次開始します。

さらに充実、一步先へ! 協会けんぽの「健康づくり」事業

今年5年4月スタート! 生活習慣病予防健診等の自己負担の軽減

一般健診 対象:35歳~74歳の被保険者(ご本人)

最高 **7,169円** → 軽減後 **5,282円**

協会けんぽの生活習慣病予防健診は、
 血圧測定 血糖検査 尿検査 心電図検査
 胸骨レントゲン検査 骨密度レントゲン検査
 腎臓超音波検査

メタボリックシンドロームとともに
5大がん 肺 胃 大腸 子宮 乳房 までカバー!
※子宮頸がん検査、乳がん検査は、医師の判断が必要となります。

※メタボリックシンドロームとは、お腹まわり内臓脂肪がたまることで悪玉のホルモンが分泌され、高血圧・高血糖・脂質異常等が起こり、生活習慣病になりやすくなる状態のことです。

付加健診 **4,802円** → **2,689円** 令和6年4月より、付加健診の対象年齢について、現行の40歳、50歳に加え、45歳、55歳、60歳、65歳、70歳も対象になります。

※付加健診とは、尿目の年齢において、肝臓、胆のう、腎臓といった腹部の臓器の様子を観るための腹部超音波検査や、高血圧・動脈硬化などを発見する手がかりとなる眼底検査といった、より詳細な健診です。

子宮頸がん検査、乳がん検査、肝炎ウイルス検査の自己負担も同様軽減します。

健診を受けた後の行動こそが大切です!

異常なし
引き続きの健康づくり、毎年の健診を!

生活習慣の改善が必要
特定保健指導を利用しましょう!

! 特定保健指導って?!

健診の結果、メタボリックシンドロームのリスクのある40歳~74歳までの方を対象に行う健康サポートです。健康に関するセルフケア(自己管理)ができるように、健康づくりの専門家である保健師または管理栄養士が寄り添ってサポートします。

医療機関への受診が必要
医療機関に早期受診を!

! 未治療者への受診勧奨!

協会けんぽでは、健診の結果、血圧値、血糖値、LDL(悪玉)コレステロール値が「要治療」「要精密検査」と判定された方で、医療機関への受診が確認できない方へ受診をお勧めするご案内をお送りしています。
※令和6年10月より、健診結果(ご郵送)にも医療機関への受診の案内をお送りします。

全国健康保険協会 静岡支部 TEL 054-275-6605 (受付時間)平日8:30~17:15
 協会けんぽ 〒420-8512 静岡市東区東三島1丁目1-1 静岡南支店3F
 特設ページはこちらから▶▶▶

協会けんぽの健康づくりのサポートについての詳細はこちらから▶▶▶

特定保健指導で健康への目標・行動計画をサポート

特定保健指導の対象者について

健診を受けた40歳以上の方のうち 以下の追加リスクが1つ以上ある方

腹囲 男性 85cm以上 女性 90cm以上

BMI 25以上

さらに 血圧 血糖 脂質 喫煙

特定保健指導対象者に該当 40歳~74歳までの方

メタボ 予備群

特定保健指導では対象者の健康に向けて目標と行動計画をサポートします! 健康の生活習慣を見直す良い機会です。

特定保健指導の内容について

STEP 1 目標と行動計画の設定 20~30分の初回面談

STEP 2 3~6ヵ月チャレンジ 行動計画の実践

STEP 3 目標達成度のチェック

※STEP1で本人と医師の行動計画を共同で設定し、STEP2で実践し、STEP3で達成度をチェックします。達成率や目標達成までの経過を把握し、必要に応じて医師や管理栄養士がサポートします。

医療機関への早期受診について

医療機関への早期受診が必要な方

New 脂質 LDLコレステロール値 180mg/dL以上

LDLコレステロール値に着目した医療機関への受診案内

! LDLコレステロールってなに?!
 悪玉コレステロールとも呼ばれ、増えすぎると動脈硬化を促して心臓病や脳卒中を発症させる危険性があります。

高血圧・高血糖・脂質異常を放置すると?

高血圧 正常血圧と比べて血圧が高くなるほど脳卒中(脳出血、脳梗塞等)の発症リスクが高まります。

高血糖 高血糖の状態を放置すると、目が見えにくくなったり、人工透析が必要になる場合もあります。

脂質異常 LDLコレステロール値が基準値より高い人は心臓病等になりやすくなります。

協会けんぽ <http://www.kyokukanko.or.jp>